団地新聞 Green×Town（グリーン タウン）

団地で生まれた知恵をみんなで共有する、管理組合向け新聞　2016年7月22日　第11号

発行：東邦レオ株式会社 Green×Town事業　東京都豊島区北大塚1-15-5／大阪市中央区上町1-1-28　TEL：03（5907）6628

今月の記事

2 3 雑草対策特集
4 イベントレポート
・さつまいもイベント
・七夕イベント
・たけのこ堀りイベント
4 無料プレゼント

http://www.mansion-green.jp/
［クリエイティブグリーン］で検索

住民参加の植栽改善 植栽管理予算内での改善

アイランドグレース（神奈川県川崎市）

アイランドグレースは、駅近ながらゆとりある植栽空間に、ヤシ等リゾート感のあるメインエントランス、芝生広場と桜のある開放的なサブエントランスが印象的な539戸の大規模マンションだ。今年で8年目を迎えるが、3年かけて住民参加の植栽改善に取り組んできた。

植栽管理関連予算の総額は変えずに25％を改修予算として割り当てた。それから3年、その25％の植栽改修予算の中でコストを抑えつつ可能な限りの改修改善を実施し、管理の工夫もあわせて植栽改善を行ってきた。理事会と下部組織のグリーン倶楽部を中心に行ってきた植栽改善の成果をまとめた。

改善工事をイベント化することで一石三鳥の改善

アイランドグレースの特徴は、これまで実施してきた改善工事の多くがイベントとして住民参加型になっていることだ。土を掘るような力仕事や機械を使った作業は東邦レオの職人が行うが、植物の植え付けや移植作業、水やり等の作業はイベントとして参加した住民や子どもたちも交えて行っており、その効果は3つある。一つはそれにより作業コストが抑えられることで、外注した場合の施工費のうち一部を住民が作業することにより改修費を抑えている。二つめは植栽の不調の原因として、子どもたちの遊びの中で植栽地内に入ってしまうこともあったが、自分たちで植えた場所は大切にする意識が芽生えること。これらにより、改善した場所では景観が向上し、その状態が維持されているというのが三つめだ。この取り組みによって、限られた予算の中で最大限に多くの場所の改修を行ってきた。

運営体制と今後の取り組みについて

これらの取り組みは、理事会の下部組織であるグリーン倶楽部が担当し、コストは抑えつつ見栄えと品質が保たれるように細部まで検討をしてきた。また、改修イベントだけでなく、アロマせっけんづくりや草取り大会等のイベントも企画運営している。

改修についてはこれまで目立つ部分からできる限りの改善を行ってきたが、今後の改善については改めて理事会でも検討していく予定だ。その内容としては、生育不良の低木の改善や、芝生改善、屋上ガーデンの未改修部分の改修などがあり、すべて実施するには多くの費用がかかるため、優先順位をつけて検討していく。

また、屋上ハーブガーデンは育ったものを住民が自由に利用できることになっているが、そのルールづくりやより多くの住民に利用してもらえるような運営の工夫が必要となってくる。これまでは改善工事をイベント化することが多かったが、今後はきれいになった植栽を楽しむイベント（例えばハーブを使った試飲・試食会やクリスマスツリー飾り付け）など、より多くの住民が楽しめる企画もできるようになり活用の幅は広がりそうだ。

2013年5月　2つのエントランスは最初のイベントで植替え、今も季節ごとにお花の植替えを行っている。

2014年3月　サブエントランスの桜の改善。生育不良の桜には土壌改良を行い、植樹祭として新たな桜も植え、少しずつ育ってきている。

2014年4月　中庭の植替え。日陰なので日陰に強い植物で植栽。子どもたちが作った看板のおかげで、多かった立ち入りもなくなった。

2015年11月　バイク置き場前の小さな植栽スペースは、モミの木を入れてクリスマス用のコーナーに。

2016年4月　屋上は、元気な植物を移植してハーブガーデンに。理事会のメンバーも参加して改修作業を行った。

草取り大会　大人も子供も一生懸命草を取り、芝刈り体験もして芝生広場がきれいになった。

雑草対策特集

雑草が多いとせっかくの緑地も印象が悪くなってしまいますね。今回は、目的と状態に合った賢い雑草対策で管理コストの無駄をなくし、景観向上を行っていく方法をご紹介します。

対象地別　雑草対策おすすめチャート　雑草が気になる部分を思い浮かべながら、以下の質問に答えてください。

START!

雑草が多い場所の対策どうしたら良い？

Q1 どのような場所ですか？

- 管理用通路や敷地境界など、見るための緑地ではない → ①
- 見える場所だが、コストをかけてきれいにする対象ではない → ②
- 景観として価値のある場所 → Q2

Q2 元の植物は元気ですか？

- 植栽が枯れたり衰退している → ③
- 植栽はあるが雑草が多く混ざっている → ④

GOAL!
おすすめの対策はこちらです

① **防草シートを使って改修**
防草シート＋砂利、防草シート＋植栽

② **ワイルドフラワーで緑化**
ワイルドフラワーや
ダイカンドラなどの播種で雑草対策

③ **植替えや芝の張替えを実施**
増えてしまった雑草をリセット！

④ **管理で雑草対策**
手取除草、機械除草、除草剤、自主作業など

① 防草シートを使って改修

一部の人が通る場所

防草シート＋ツル植物（ヘデラ）

施工２年後

住棟周りの草地

防草シート＋砂利

管理用通路や敷地境界など、住民の方は入らずあまり見られない場所や、裏側の場所は防草シートを使って改修するのがおすすめです。
上には砂利を敷くか、ツル性で表面を覆う植物を植えると見栄えも整います。
イニシャルコストはかかりますが、見た目がきれいになり管理費用が低減できます。雑草は生えにくくなりますが、シートの隙間やシートの上の砂利にわずかに生えてくるものがあるため、年に数回は手取除草をする必要があります。

●施工費目安
（防草シートのみ 900円／㎡～）
防草シート＋砂利 4,000円／㎡～
防草シート＋植物 6,000円／㎡～
※面積・形状によるため参考価格です。対象地の除草・整地作業は別途必要です。

② ワイルドフラワーで緑化

ワイルドフラワーを播種

施工後の夏

ダイカンドラを播種

数ヶ月で地表を覆う

見える場所だがあまりコストをかけたくない場所では、ワイルドフラワー（花が咲く野草の混合）やダイカンドラ（地表面を匍うように覆う植物）の種をまくことで安価に緑化でき、雑草を抑えます。良く発芽させるには播種前の土づくりが大切です。管理面ではワイルドフラワーの場合は年２回程度の刈込みと種の散布、ダイカンドラの場合は簡単な手取除草が必要となります。

●施工費目安　200円／㎡～
※面積・形状によるため参考価格です。元の状態により、既存植物撤去・土壌改良等が別途必要になります。

③ 植替えや芝の張替えを実施

低木の隙間に雑草が多い

入口なので華やかに植替え、雑草の生える隙間がなくなった

芝張り替え前
（緑色に見えるのはほぼ雑草）

芝張り替え１年半後

●施工費目安
植物の植替え 18,500円／㎡～
芝生の張替え　3,500円／㎡～
※面積・形状によるため参考価格です。元の状態により、既存植物撤去・掘削・土壌改良等が別途必要になります。

手前が裸地化し雑草が目立つ

彩り鮮やかな低木に植替え、見栄え良く管理コスト低減に

元の植栽が枯れたり衰退している部分に雑草が繁茂している場合、除草を行っても見栄えは良くならず、地面に光が当たるのでまた雑草が生えてきてしまいます。このため、植替えを行い本来の植栽でしっかり覆うようにすることで、景観も整い新たな雑草が生えるのを抑制できます。
まばらに生育している場合、元気な植物は移植をして活かすこともできます。
植替え実施後も通常どおり手取除草が必要となりますが、雑草の量が減るためかかるコストは削減できます。

4 管理で雑草対策

元の植栽が生育していて雑草が混ざってしまっている場合や、高木や生垣の足元などの雑草は管理手法の工夫で減らしていきます。管理手法には大きく手取除草、機械除草（草刈り）、除草剤散布がありますが、それぞれの雑草の特性を理解して時期や頻度を考慮して実施することが大切です。

下図のとおり、地表面で雑草を刈る機械除草と１本１本の雑草を手で取る手取除草のみでは、一度増えてしまった雑草を減らすことは難しいため、適切な除草剤を組み合わせることが効果的です。除草剤を散布できない場所では、これら手取除草や機械除草を高頻度で実施することで徐々に雑草を減らしていく対策をとります。

主な雑草の分類と対策

●特徴

数年に渡り生育し、根茎や種で増える。根の切断面から発芽するので、刈込しても地中に残った根茎があれば再生し、個体を増やしてしまう場合がある。根絶するには、文字通り根を取り除かなければならない。

●対策

①除草する際は根を残さずに行う。
②刈取り頻度を増やし勢力を弱める。
③生育期に茎葉処理剤を散布し（葉から吸収され根に送られる）、根ごと死滅させる。

●特徴

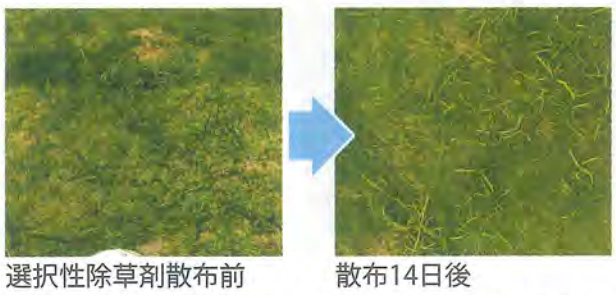
種から芽生え、一つの個体は１年以内に枯れる。春に発芽するものと、秋・冬に発芽するものがある。刈込で枯れるが、１個体から数百～数千の種を落とすため翌年も発芽する。

●対策

①開花前に除草し、種を落とさせない。
②発芽時期に土壌処理剤を散布し、発芽したものを死滅させる。

除草剤について

一口に除草剤といってもその種類は多く、葉に散布することで今生えている雑草を駆除するもの（茎葉処理剤）と地表面に散布することで新しく種から発芽したもののみ駆除するもの（土壌処理剤）、植物の種類を選ばず枯らすもの（非選択性）と特定の種類のみ枯らすもの（選択性）があります。対象地の植栽や、駆除対象の雑草により適切に使い分けることが大切です。



選択性除草剤散布前
雑草（ハマスゲ/多年草）が芝に混ざって生えている

散布14日後
雑草（ハマスゲ）のみ枯れている

非選択性除草剤散布前
目地に多種類の雑草が生えている

散布16日後
すべての種類の雑草が枯れている。

●除草剤の安全性

除草剤というと悪いイメージを持つ方もいます。現在農水省で認可されている農薬は様々な実験により人や周囲の環境に対する安全性が科学的に確認されており、適切な使用の範囲では安全に雑草を抑えることができます。わかりやすい説明資料をご用意しているので、ご興味のある方はご請求ください。

〈事例〉除草の工夫で品質向上

● コストは変えずに品質向上！

2014年6月　2016年6月

2014年より除草剤散布を開始し、2015年より芝刈りを年２回から年６回に増やしたことで、総額のコストは変えずに品質向上が行えた事例です。発生する雑草量が減るため、１回の芝刈りのコストが減り回数を増やせています。

●舗装にはみ出た芝生をきれいに

2015年4月　2015年7月

芝生が舗装の隙間に侵入し、手で除去してもすぐに再生してしまっていました。縁切りをして舗装上のみに除草剤を散布し、枯れたものを取り除くことできれいになりました。目地の雑草にも同様の方法が有効です。

●増えてしまったツル雑草を徹底的な除草で減らす

低木や生垣に絡んで伸びたツル性雑草は、低木・生垣刈込みでは減りません。写真は刈込みのみの管理でツル性雑草（ヤブガラシ）が増えてしまっていた事例です。冬の間も含めて、毎回の作業で時間がある限り根ごと除草したことで、発生量が減ってきました。

〈事例〉除草の工夫でコストダウン

●除草剤活用で10%コストダウン！

2014年6月芝生に雑草が繁茂　2016年6月雑草減少

2014年7月低木下に雑草が繁茂　2016年6月雑草減少

2014年より除草時期を見直したことと外周部のみ除草剤を併用したことで除草費用を約10%削減しました。削減できた費用を使い、子供がよく遊ぶ中庭は除草剤は使用せずこまめな芝刈や手取除草を行い品質向上し維持しています。

●草刈り隊結成で年間150万円コストダウン！

住棟前や高木下に広い芝生を持つ団地で、住民による草刈り隊（約10名）を結成し３年経ちました。月１～２回の活動で4月から8月までかけて敷地１周の草刈りをします。2年目から除草剤も併用し、年2回はクリーンデー（住民150名ほどの清掃活動）とも協働で作業をします。これにより、草刈りを植栽管理業者に外注した場合に比べて150万円のコストダウンとなっています。

イベントレポート

さつまいもを育てて食べて雑草対策にも！

パークハウスザガーデンのさつまいもイベント

パークハウスザガーデンでは、植栽管理費の中で雑草対策の割合が高かったことから、あらゆる雑草対策を行ってきました。防草シートを活用したり、裸地部を低木で覆う等の対策をしてきましたが、それに加えて通常入らない空きスペースで雑草が多く生えている場所を菜園として活用する案が出ました。

あまり世話をしなくても育ち、横に広がり雑草が生えにくい野菜としてさつまいもを選び、子供たちの参加型のイベントに組み込みコミュニティ活性につなげる取り組みがスタートしました。2013年に開始し2016年で4年目を迎えるイベントになりました。

昨年までは、畝作りと苗の植えつけは東邦レオにて実施し、秋のいも堀りと周辺草むしりをイベントとして居住者で実施していましたが、今年はさつまいもの植え付けからイベントとして実施しました。年々参加人数も増え、今年の植え付けは40名弱の方が参加しました！

より深くパークハウスザガーデンのお庭づくりに参加してもらうことで、子どもたちの思い出となりコミュニティづくりになりつつ、雑草対策にもなっているという一石二鳥のイベントです。

みんなで「さぁ、掘るぞ!!」

来年もお楽しみに！

今年のメニューはさつまいもチップス、さつまいもとりんごの甘煮、さつまいもの葉っぱのフリッターでした！

来年もお楽しみに！

日本の四季を感じる

七夕イベント

武蔵野タワーズ（570戸）では、季節を楽しむイベントとして、七夕、中秋の名月、春分の日、クリスマスのイベントを行ってきました。今年の七夕イベントは、定番の笹飾りに昨年も好評だったかき氷、敷地内の葉っぱをスタンプにしたオリジナルうちわ作りを組み合わせて行いました。

梅雨の合間の猛暑日だったこともあり、かき氷は約240杯、うちわも用意した50セットがすべて無くなる大盛況となりました。前回まではエントランスと集会室に分かれてイベントを実施していましたが、今回はすべてエントランスホール付近にて実施したこともあり、参加しやすく過去最大の参加人数になりました！準備中から「楽しみにしています」と声をかけてくださる住民様もいらっしゃり、「毎年開催して欲しい！」という声も多いです。

多くの住民様が集まりました！

短冊には様々な願いがかけられました

猛暑日でかき氷も大好評！

敷地の葉っぱを使ったうちわ作り

たけのこ掘りイベント

ヴェレーナ港北ニュータウン（346戸、神奈川県横浜市）には敷地内に竹林があります。毎年たけのこが沢山生えてきますが、これまでは管理人さんが取って住民さんに配布していました。それを今年は住民イベントとしてみんなで取ろう！とイベント開催をすることになりました。

集まったのは88名。大人も子どもも力をあわせて、100本以上のたけのこを掘りました！大盛況だったので、これからは恒例のイベントになりそうです。

沢山とれて、大満足！

自宅に持ち帰って、たけのこ御飯や若竹煮を作りました

大人も子どもも夢中になって掘りました

編集後記

11号をお手に取って頂きありがとうございます！

植栽管理サービス「クリエイティブグリーン」を導入頂けた管理組合様が増え、蓄積したノウハウをまとめた雑草対策特集を行ないました。紙面に掲載できた事例はわずかですが、多種多様な雑草問題に対しての事例が積み上がってきました。

ご自身や、周囲の方で植栽についてお困りのことがありましたら、ぜひ私たちまでご相談下さい。

また、記事についてのご感想やリクエストもお待ちしております。今後も皆様に役立つ情報発信ができるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します！

編集長・栗原優香

無料プレゼント

『マンション・団地の外構・植栽中長期景観づくりのすすめ』

現状の植栽に不満があり、どのように改善するか検討したい理事様のために、樹木の生育診断や生育不良改善といった技術的なことから、検討組織の作り方からビジョンづくりといった運営方法のことまでを網羅した一冊です。

〈A4版20頁フルカラー〉

お申し込み方法：電話、FAX、Eメール、ホームページのいずれかよりお申し込み下さい。メールの場合は郵便番号、住所、名前、マンション・団地名、電話番号をお送りください。

発行元　東邦レオ株式会社

コスト組換え型植栽管理サービス「クリエイティブグリーン」を運営し、コストダウンの工夫と植栽改善の取り組みを組み合わせることで、管理費はそのままに植栽のグレードアップを提供しています。現在の受託件数は約120管理組合に達し、約4万戸のお客様へサービスをご提供しています。本紙は各マンション・団地の取り組みで生まれたノウハウや事例を共有し、植栽に課題意識を持つ多くの理事様に役立つ情報提供を行うことを目的に発行しています。バックナンバー、継続送付のご依頼もお気軽にお問い合わせ下さい。

発行元　東邦レオ株式会社　Green×Town事業
〒170-0004　東京都豊島区北大塚1-15-5東邦レオビル3F
TEL：03-5907-6628　FAX：03-5907-5505
E-mail：kurihara@toho-leo.co.jp　担当：栗原

ホームページ「クリエイティブグリーン」で検索
http://www.mansion-green.jp/

団地新聞 Green×Town〈号外〉2016.8.1

THE GREEN AMENITY

3年かけた植栽改修 地域で評判の植栽に 居住者専用のハーブ園もオープン

ザ・クレストシティ
(神奈川県川崎市)

武蔵新城駅徒歩3分という好立地ながら、626戸という大規模マンションであるザ・クレストシティ。公開空地を含む広い植栽地に対し、3年かけて改修を進めてきたことにより、通りがかる人も立ち止まって眺める評判の緑地となっている。

管理組合では9年目に管理会社・植栽管理業者の変更を行い、一丸となって各所改善に取り組んできた。

改修の経緯

公園に面したエントランス前の広い芝生広場に、シンボルとなるポプラ並木が配された開放的なランドスケープデザインが特徴のザ・クレストシティ。しかし、築9年を迎える頃には植栽の傷みが目立つようになっていた。猛暑による水不足や、人やペットの立ち入りによる踏圧が原因と思われた。2013年の春に管理会社を大和ライフネクストへ、あわせて植栽管理業者を東邦レオへ変更して各種改善工事を伴う植栽改善を進めてきた。敷地の景観を大きく変える部分もあり、改善案のまとめや合意形成には困難もあったが、管理組合と協力した問題意識の共有と美化に向けた強い意志での取り組みが成果として実を結んできている。

館銘板前。天然石で歩道と植栽を区切り、季節の花が咲く

❶潅水ホース設置と花壇柵設置

まず敷地全体で課題であったのが、歩道用空地とフラットにデザインされた公園用空地である植栽へ近隣住民やペット、自転車が立入り、子供が遊び回ることによる損傷、及び散水の管理がされていない中での猛暑等による水不足だった。

当時、理事自らが巡回して立ち入りを注意したり水やり作業を行うこともあったが、それではとても手に負えない状況であった。このため、まず最初に取り組んだのが花壇柵と潅水ホースの設置だった。

花壇柵については、芝生広場では景観性を重視して圧迫感の少ない高さ40cmのデザインフェンス、歩道沿いのエリアではしっかりした高さ60cm程のフェンス、木立の中の遊歩道では既存のロープ柵を移設する形で、場所と用途に合わせた設計とした。これにより、立ち入りによる傷みは激減し、植替えを伴う植栽改善を進めやすい状況が整った。

潅水ホースについては、乾燥に弱い低木類を中心に総延長2km以上の潅水ホースと自動潅水タイマーを導入した。また、芝生広場では潅水ホースの設置が難しかったため、移動式の簡易スプリンクラーを用意し、ホース設置が困難な場所の水やりを含めて植栽担当清掃員により実施することにした。これにより、特に水を好むアジサイの花つきが劇的に改善し、毎年剪定して居住者に配布できるほどになった。

歩道沿いエリア。フェンス設置、潅水ホース設置、低木補植を行って整えた

❷館銘板前花壇改修

次に着手したのが駅からの動線で最も目立つエントランス周辺の整備だ。館銘板前は天然石で歩道と植栽地を区切り、季節ごとの植替えを行う花壇とした。マンションのイメージを左右する部分であるため、合成画像によるイメージを元に検討し、デザインを決定した。後に、そこから続く広場状公開空地も歩道拡幅、植栽植替えを実施した。

❸芝生広場改修

芝生広場は、元の芝生が衰退してしまっており張替えが必要であったが、面積が約1000㎡と大きく費用もかさむため、土壌調査をした上で工法を決定し、まず一部分を工事し経過を見て全体を実施するという2段階の対策をとった。水やり含む管理内容の改善もあり、美しい芝生広場になった。

子どもの遊び場になっていたが、膝丈の植栽で立ち入りにくく立体感あるデザインに。歩道も拡幅して通行しやすく。

④シンボルツリーのポプラ植替え

芝生に並ぶポプラ並木がランドスケープデザインの象徴的な要素であったが、材質のやわらかいポプラが台風等の強風で倒木するという事故が度々起こっていた。幸い人に危害が及ぶことはなかったが危険性が高い状況であったため、樹種を変更しての植替えも含めて検討を開始した。ポプラの景観を気に入って購入した住民もいるであろうことから、ポプラを維持する案、別樹種で植え替える案を検討し、住民アンケートを行った。アンケート結果から倒れたポプラは別種で植え替えることとなり、マンション総合保険の補償金を活用して植替えを行った。あわせて不具合のあった照明も交換し、夜間も歩きやすく緑が映える空間となった。

⑤立体駐車場屋上をハーブ園へ

植栽の衰退が著しく、雑草が増えてしまっていた立体駐車場の屋上は、土壌調査結果と乾燥しやすい環境であること、住民のみが入れるプライベート空間であることから、乾燥に強いハーブを中心として、自由に収獲が楽しめるハーブ園への改修を行った。ヨーロッパガーデン、日本ガーデン、熱帯ガーデン、イベントガーデンの4つのエリアに、それぞれの地域原産のハーブや果樹、花が200種以上植栽されている。シソやバジル等の身近なハーブからブドウ等の果樹、珍しいハーブも含め住民が自由に収獲して自宅で利用できる。また、ペットの飼育が可能なマンションだが、周辺にペットを遊ばせられる環境が少ないことから、一部をペットひろばに改修する計画だ。

ウッドパーゴラを設置しブドウを植えたイベントガーデン

エントランス前の芝生とポプラ並木。花壇柵を設置し芝生を張り替え、ポプラをトウカエデに植替えた

合意形成を導いた工夫と今後の運営

一連の改修工事は、傷んだ植栽の復旧という枠を超え景観を大きく変える工事も含むため、植栽について検討する理事の中でも、まして626戸の住民における合意形成は難しい。その中でも3年でこれだけの改修工事を実施できたことの中には運営上の工夫があった。

当初は理事会の中で植栽についても検討していたが、内容が具体化するほど時間がかかりすぎてしまうため、有志の理事により理事会とは別に月1回の植栽検討会を開催するようになった。また、イメージがわきにくい植栽の大幅な変更については、合成画像によりイメージを共有したり、サンプルを取り寄せ現地で確認することで検討を重ねた。理事の中でも最も意見が割れたポプラの植替えについては、何度も議論を重ねて改善案をまとめ、アンケートの形にして住民の意見を求めた。これらの検討と日々の運営には、理事長をはじめとした参加メンバーが主体的な姿勢で検討に参加し、また日常の中で植栽地の使われ方や植栽の様子を丁寧に見ていたことが大きかった。時には植栽の不具合を理事が発見して素早い是正措置が取れたり、工事計画でも住民にとってより使いやすく景観も高められるアイデアにつながった。

植栽管理については、各種工事により管理対象植物は増えているが、当初の管理コストから総額は変えないままで運営できている。当初は雑草が多く、草刈りや手取除草に多くコストがかかっていたため、人が入らないエリアには雑草の発芽抑制剤を導入して省力化し、その分を増えた植物の剪定や手入れに充てている。

植栽は生き物であり、改修工事をした後が新しい景観づくりのスタートになる。もちろん反対意見もある中で進めてきた改修工事であり、今後の運営の中で植栽の価値をさらに引き出し、住民満足と資産価値向上につとめていくことが重要だ。

現在は、1年かけて検討し2016年春に完成した立体駐車場屋上の「スカイガーデン」のハーブ園の運営が開始したばかり。施工計画中のペットひろばと合わせて、年間を通じたイベント運営や日常的な情報提供を含めて、より多くの住民に利用してもらい、価値を感じてもらえる場に育てていく計画だ。

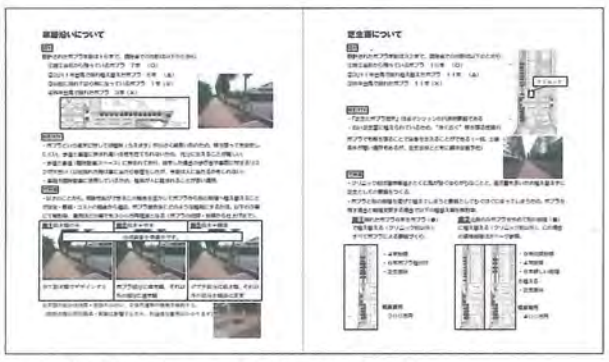
理事立会いでの土壌調査

館銘板前合成画像1

館銘板前合成画像2

館銘板前は2パターンのイメージ画像で比較検討。マンションの顔となるため華やかなプランを選んだ。

立体駐車場屋上のスカイガーデン


ポプラ植え替えについての住民アンケート。合成画像や図でわかりやすく改善案をまとめた

アジサイの配布。毎年恒例となり、楽しみにしてくれる方も増えてきた

敷地内の植物を使ったクリスマスリース作りイベント

スカイガーデンのハーブ園で取れたハーブをを配布

↓スカイガーデンお披露目イベントでは住民参加でハーブ植え付けとハーブティの試飲を楽しんだ

〈発行・お問い合わせ先〉東邦レオ株式会社 Green×Town事業　東京都豊島区北大塚1-15-5　TEL.03-5907-6628
〈取材協力〉ザ・クレストシティ管理組合
http://www.mansion-green.jp/